

高速道路は「すべての人がアクセスできる文化遺産」

掲載日	2009年9月16日
国名	フランス
分類	お客様サービス
出典	APRR(パリ・ライン・ローヌ高速道路会社)
タイトル	L'autoroute, « un patrimoine accessible à tous »

来たる9月19、20日の両日、パリ・ライン・ローヌ高速道路会社(APRR)グループは、高速道路沿線の魅力を発見してもらおうと、グループが管理するサービスエリアが秘め持つ豊かな文化遺産を積極的に紹介し、一般の利用者を対象としたガイドツアーや無料の展示会を開催する。これによりグループは、「すべての人がアクセスできる」文化的な行事の開催を通じて「2009年欧州文化遺産の日」に関連する全国的な取り組みに参加する。

高速道路は単なる移動手段なのか？

APRRは、グループの高速道路上にあるサービスエリアを、訪れた人に新たな視点から捉えてもらおうと、様々な企画を用意している。沿線の住民には、文化的かつゲームの要素を取り入れた多彩な催し物を多数取り揃え、道路もまた彼らの生活空間であることを発見してもらおう機会を提供する。また高速道路の利用者には、少しの間車を止め、沿線の魅力に触れてもらえるよう提案する。そのようにして、すべての人にグループが持つ文化遺産を開放するのである。

高速道路の文化遺産を紹介する2日間

サービスエリアは高速道路の豊かな文化遺産の構成要素の一つである。そのためAPRRは、2009年9月19日と20日、グループの高速道路上にある一部のサービスエリアで、文化的かつゲームの要素を取り入れた多彩な催し物を開催し、ガイドツアーや展示会を通じて、さまざまな土地とその歴史のほか、地元の芸術や建築を紹介する。詳細は添付資料を参照のこと。

外部に開かれた高速道路網へ

「アクセスのしやすさ」をキーワードに据えた今年のイベントは、パーキングやサービスエリアを通じて管轄する高速道路網を外部からアクセス可能なものとし、地域に最大限に開かれた高速道路を目指すAPRRグループの意向と完全に合致するものである。